

グリーンリーディング資料の使用を制限する（ローカルルールひな型 G-11）：
ローカルルールひな型の文言と追加のガイダンス

ローカルルールは 2022 年 1 月から利用可能

ローカルルールひな型 G-11：グリーンリーディング資料の使用を制限する

目的 規則 4.3 そして解釈 4.3a/1 では具体的に詳細なグリーンリーディング資料のサイズと縮尺を制限しています。しかし、プレーヤーとキャディーがパッティンググリーン上でプレーの線を読む支援のために自分たちの目と判断力だけを使うことを確実にするために、プレーヤーたちが彼らのラウンドを通じてその競技会での使用が承認されたヤーデージブックだけを使うことに制限されるという要求により、委員会はグリーンリーディング資料の使用をさらに制限することができます。

このローカルルールは最も高いレベルの競技ゴルフだけ、その場合であっても委員会がヤーデージブックの承認手続きを取り行うことが現実的である競技会だけを対象としています。

このローカルルールを採用する場合、委員会はプレーヤーが使用することができるヤーデージブックの承認に責任があり、承認されたヤーデージブックは最小限の詳細（著しい傾斜、段、傾斜で球が止まらないエッジなどのグリーンの部分を示す）だけを記したパッティンググリーン図を含むべきです。

プレーヤーとキャディーはパッティンググリーン上でプレーの線を読む支援とするために、このローカルルールに基づいて認められるメモである限りは、承認されたヤーデージブックに手書きのメモを加えることができます。

ローカルルールひな型 G-11

「規則 4.3a は次のように修正される：

ラウンド中、プレーヤーは委員会が承認したヤーデージブックだけを使用することができる。この制限は、ホールロケーションシートを含め、その他のあらゆるコース図にも適用される。

さらなる制限が手書きのメモとプレーヤーによって使用されるパッティンググリーン上でプレーの線を読む支援となる可能性のあるその他のあらゆる資料に適用される：

- 手書きのメモは、プレーヤーとそのプレーヤーのキャディーだけが承認されたヤーデージブックや承認されたホールロケーションシートにラウンド前やラウンド中に加えることができ、そのプレーヤーやキャディーだけによって収集された情報に限定される。
- 手書きのメモは、コースやテレビ放送を見ることによってプレーヤーやそのプレーヤーのキャディーの個人的な経験を通じてのみ得られた情報を含むことができる。ただし、以下で得られた情報に限定される：

- 転がしたり、プレーした球（そのプレーヤー、キャディー、あるいは誰か別の人によってかどうにかかわらず）を観察する間。または、
- そのプレーヤーやキャディーのパッティンググリーンについての判断力や一般的な観察を通じて。

こうした手書きのメモやその他の資料へのさらなる制限は、そうした情報がプレーヤーがパッティンググリーン上でプレーの線を読む支援とならない場合（スイング思考やそのプレーヤーのクラブ番手ごとのキャリー距離のリストを含む手書きや印刷された情報など）には適用されない。

ラウンド中、プレーヤーが下記を使用した場合：

- ・ 委員会が承認していないヤーデージブック、その他のコース図、またはホールロケーションシート。
- ・ 認められていない方法で得られた手書きのメモや情報を含む承認されたヤーデージブックや承認されたホールロケーションシート。または、
- ・ パッティンググリーン上でプレーの線を読む支援となる可能性のあるその他のあらゆる資料（特定のグリーンであるか、一般的なグリーンであるかどうかにかかわらず）。そのプレーヤーはこのローカルルールの違反となり、規則 4.3 に基づく罰則規定が適用となる。

「使用する」とは、以下のものを見ることを意味する：

- ・ 委員会が承認していないヤーデージブック、その他のコース図、ホールロケーションシートのどのページでも。または、
- ・ 見ることでそのプレーヤーやキャディーがパッティンググリーン上でプレーの線を読む支援となる可能性のある場合、以下のどれであっても：
 - 認められていない方法で得られた手書きメモや情報を含む承認されたヤーデージブックや承認されたホールロケーションシートのページ。または、
 - その他のあらゆる資料。

以下はローカルルールひな型 G-11 に関連した質疑応答です。このローカルルールは、プレーヤーたちが彼らのラウンドを通じてその競技会での使用が承認されたヤーデージブックだけを使うことに制限されるという要求により、委員会がグリーンリーディング資料の使用をさらに制限することを認めています。

通則：

1.

質問：ローカルルールひな型 G-11 が採用される場合、解釈 4.3a/1 のサイズと縮尺の制限は適用されますか？

回答：適用されます。委員会が承認するヤーデージブックのサイズは 7 インチ×4.25 インチを超えてはならず、グリーン縮尺は 5 ヤードに対して 3/8 インチを超えてはなりません。

委員会の承認手続き：

2.

質問：委員会はすでに作成されているヤーデージブックを承認することができますか？

回答：できます。委員会は競技会に先立ってヤーデージブックを承認しなければなりません。ヤーデージブックが解釈 4.3a/1 で規定されているサイズと縮尺の制限を満たしており、委員会が納得するグリーンについての限定された詳細情報を含む場合、そのヤーデージブックを将来の競技会で承認することができます。

3.

質問：委員会が承認できるヤーデージブックのグリーンの詳細さの程度について基準はありますか？

回答：ありません。ローカルルールひな型 G-11 はグリーンの詳細さについての具体的なパラメーターを規定していませんが、ローカルルールひな型 G-11 の目的に合うために、承認されたブックは最小限の詳細だけを含むべきです（著しい傾斜、段、傾斜で球が止まらないエッジなどのグリーンの部分）。

4.

質問：プレーヤーは委員会が承認したブックに基づいて自分自身のヤーデージブックを作成すること、例えばグリーンをコピーして、ブックの残りは自分自身の好みに基づいて作成することができますか？

回答：できません。ローカルルールひな型 G-11 に基づき、委員会が承認したブックはプレーヤーがラウンド中に使用できる唯一のブックです。

5.

質問：すべてのホールロケーションシートは承認される必要がありますか？

回答：ホールロケーションシートにどのようなものであってもグリーンの詳細が含まれる場合（たとえグリーンの外輪郭や最小限の傾斜の複製だけの詳細を含む場合であっても）、ホールロケーションシートは承認されなければなりません。しかし、与えられた情報がホールの位置だけに関連しており、そのグリーンに特化したその他の詳細を一切含んでいない場合、承認される必要はありません。例えば、線で描かれた一般的な円にそのホールの位置がフロントや左右のエッジからどれくらいの距離なのかを示しているだけのシートは承認される必要はありません。

手書きのメモ：

6.

質問：プレーヤーは委員会が承認したブックやその他の資料に書き込んでラウンド中に使用する手書きのメモを作成するために別のソースからのグリーンの詳細を使うことができますか？

回答：できません。手書きのメモはそのプレーヤーやキャディーの経験やグリーン上で球を転がした観察に基づくもの、あるいはそのプレーヤーやキャディーの判断力やそのグリーンの一般的な観察を通じたものでなければなりません。

7.

質問：ラウンド中、プレーヤーやキャディーは委員会の承認したブックやその他の資料に書き込む手書きのメモを作成するために、水準器やその他の機器を用いて収集した情報を使うことができますか？

回答：できません。手書きのメモはそのプレーヤーやキャディーの経験やグリーン上で球を転がした観察に基づくもの、あるいはそのプレーヤーやキャディーの判断力やそのグリーンの一般的な観察を通じたものでなければなりません。

8.

質問：ラウンド中、プレーヤーやキャディーはそのパッティンググリーン上でプレーの線を読む支援とするために、委員会には承認されていないが、一般的で、そのコースのすべてのグリーンに適用となる可能性のある資料（印刷物であるか手書きであるかどうかにかかわらず）を使うことができますか？

回答：できません。パッティンググリーン上でプレーの線を読む支援となる可能性があるそ

の他のあらゆる資料（特定のグリーンであるか、一般的なグリーンであるかどうかにかかわらず）は認められません。

9.

質問：プレーヤーやキャディーはテレビで見た情報を自分たちの手書きのメモに含めることができますか？

回答：できます。手書きのメモは経験やグリーン上を転がる球の観察に基づくことができ、そのことはテレビ放送によるそうした観察を含みます。こうしたメモは委員会が承認したブック、承認されたその他のコース図、または承認されたホールロケーションシートに書き込まなければなりません。

キャディーの交代とパートナーのメモ：

10.

質問：プレーヤーは自分のラウンドをキャディーAと共に始めたが、そのラウンド中にキャディーBに交代させた場合、そのプレーヤーとキャディーBはパッティンググリーン上でプレーの線を読む支援とするためにキャディーAが作成した手書きのメモを含む承認されたヤーデージブックを使用することができますか？

回答：プレーヤーがラウンド中にキャディーを交代させるという限定された状況（例えば、キャディーAの具合が悪くなったような場合）では、そのプレーヤーはそのラウンドの残りの間にキャディーAとキャディーBの両者の手書きのメモを引き続き使用することが認められることになる。

11.

質問：プレーヤーがトーナメント期間中にキャディーを交代させる場合、そのプレーヤーと新しいキャディーはパッティンググリーン上でプレーの線を読む支援とするために以前のキャディーが作成した手書きのメモを使用することができますか？

回答：できます。トーナメント期間中、パッティンググリーン上でプレーの線を読む支援となる可能性のある手書きのメモは、たとえそのメモがそのトーナメント期間中にそのプレーヤーが雇用していた以前のキャディーが作成していたものであっても、プレーヤーは使用することができます。そうしたメモを引き続き使用できることには、トーナメントが始まるまでの日に行った練習ラウンドの間にキャディーがメモを取ったが、そのプレーヤーは別のキャディーでトーナメントを始めるといった状況も含まれます。

この許可はプレーヤーやキャディーが手書きのメモについての制限の裏をかくことを試みる状況には拡大して適用されません。

12.

質問：プレーヤーはフォアサムやフォアボール競技でのパートナーやそのパートナーのキャディーが作成したパッティンググリーン上でプレーの線を読む支援となる可能性のある手書きのメモを使用することができますか？

回答：できます。ローカルルールひな型 G-11 ではパッティンググリーン上でプレーの線を読む支援となる可能性のある手書きのメモはプレーヤーやそのプレーヤーのキャディーが作成したものだけに制限していますが、規則 22.2 や規則 23.5a ではパートナーやそのパートナーのキャディーはガイダンスを提供できることを明確に規定しています。

罰の適用：

13.

質問：プレーヤーが規則 4.3 の違反について一般の罰を受けた後、その同じラウンド中にローカルルールひな型 G-11 の違反をした場合、このローカルルールひな型の違反について罰はどのように適用されるのですか？

回答：ローカルルールひな型 G-11 は規則 4.3 の罰則規定を用いていますが、このローカルルールひな型の違反は規則 4.3 の違反から独立しています。そのことは同じラウンド中に規則 4.3 の違反の後にこのローカルルールひな型に違反した（またはその逆）プレーヤーは一般の罰を 2 回受けることを意味します。その後、同じラウンド中に規則 4.3 あるいはそのローカルルールひな型のどちらかの違反があれば、失格となります。